

## 第8章

# 廃棄物



## 第8章 廃棄物

### 1. ごみの状況

平成 27 年度のし尿を除く一般廃棄物の総処理量は 19,404t(家庭系ごみ量 15,303t・事業系ごみ量 4,101t)で、家庭系ごみ量を市民 1人 1日 当たり に 換 算 すると 約 538g とな り ます。

総排出量を収集区分別に見ると、家庭系普通ごみ量 11,077t、事業系普通ごみ量 4,101t、資源ごみ量 2,167t、可燃粗大ごみ量 1,766t、不燃粗大ごみ量 293tとなっています(ごみ量は四捨五入)。

臨時ごみ(可燃粗大ごみ・不燃粗大ごみで、月 1 回 各 4 点 を 超 え た ご み な ど)、持込みごみ(一部を除く)、引越ごみは、有料となっています。臨時ごみ等の申し込み件数は、臨時ごみ 312 件、持込みごみ 2,411 件、引越しごみ 67 件です。今後、生ごみの水切り、レジ袋の削減(マイバック持参運動等)及び適正なごみの分別等をPRし、ごみの減量とリサイクルの推進につながる取り組みを進めていきます。



#### (1) 収集・中間処理

○人口とごみ処理量の推移 (乙辺浄化センターし渣含む)

年 度	25 年度	26 年度	27 年度
人 口	78,114 人	77,928 人	77,943 人
処理量	19,507t	19,310t	19,404t

○一般家庭から出る普通ごみ(生ごみなど可燃ごみ)は、市域を 2 地域に区分し、それぞれ週 2 回収集をしています。

○粗大ごみ(可燃粗大ごみ・不燃粗大ごみ)は、市域を 4 地域に区分し、月 1 回 各 4 点 以 内 を 電 話 申 し 込 み に よ り 戸 別 収 集 し て い ます。その後、可燃粗大ごみは、破碎・焼却し、不燃粗大ごみの金属類はできるだけ再資源化し、その他の陶器、ガラス等は埋立(委託)しています。

○資源ごみ処理量の推移

年 度	25 年度	26 年度	27 年度
アルミ缶	68,900 kg	56,837 kg	64,434 kg
スチール缶	103,610 kg	93,930 kg	91,130 kg
白ビン	278,760 kg	271,120 kg	266,280 kg
茶ビン	146,490 kg	137,020 kg	142,160 kg
その他ビン	80,170 kg	86,670 kg	82,830 kg
乾電池	13,740 kg	7,800 kg	26,180 kg
鉄・ステンレス	9,690 kg	8,640 kg	11,360 kg
牛乳パック	16,470 kg	14,750 kg	14,150 kg
段ボール	1,630 kg	1,150 kg	1,120 kg
ペットボトル	70,090 kg	70,780 kg	81,330 kg
プラスチック製 容器包装	1,016,600 kg	995,050 kg	1,000,918 kg
計	1,806,150 kg	1,743,747 kg	1,781,892 kg

※牛乳パック及び段ボールについては拠点回収による回収量を記入しています。

- 資源ごみの「缶・ビン・鍋・やかん・乾電池等」と「新聞・雑誌・段ボール等」は、市域を4地域に区分し、それぞれ月1回収集し、再資源化しています。また、「ペットボトル及びその他プラスチック製容器包装」(以下「廃プラ」という。)は、市域を5地域に区分し、それぞれ週1回収集し、再資源化しています。
- 資源ごみの内、ビン・缶は、リサイクルセンターで選別・圧縮梱包等の中間処理を行っています。また、「廃プラ」は北河内4市リサイクルプラザで中間処理を行っています。
- 蛍光管は、拠点回収(公共施設等 23箇所)をした後、リサイクル業者へ処理を委託しています。
- 乾電池は、リサイクルセンターで保管後、リサイクル業者へ処理を委託しています。
- 資源ごみの内、古紙(新聞・雑誌・段ボール等)の量の推移

年度	25年度	26年度	27年度
古紙	372,905 kg	367,390 kg	396,590 kg

## (2) 交野市ごみ減量化・リサイクル推進市民会議

ごみ減量・リサイクルを推進するうえで、地域でのごみの排出マナーや意識高揚を図るため、当該会議の委員から「ごみの4R運動」や「レジ袋の削減」などを提唱していただき、各地域で啓発活動に取り組んでいただきました。

(主な事業活動)

- 1) 集団回収活動実態調査
- 2) マイバッグキャンペーン
- 3) ごみ処理現状把握のための施設見学
- 4) 環境フェスタ in 交野への参加(ブース展示、環境ゲーム)



## (3) 廃油回収

交野市消費生活問題研究会が主体となって、偶数月の第3土曜日に家庭から出る廃食用油の回収を、各地域で実施しています。

平成27年度は、19ヶ所に廃油回収場所を設けました。

天野が原町会館・藤が尾ふれあい館・松塚ふれあい館・星田市民センター・星田会館・寺集会所・星田山手自治会館・妙見坂自治会館・行殿団地・幾野集会所・倉治公民館・青山集会所・梅が枝集会所・私市山手自治会館・青葉台自治会館・星田西体育施設・交野市役所・個人宅2箇所

○廃油回収量の推移

年度	25年度	26年度	27年度
廃油	2,800 ㍓	2,500 ㍓	2,610 ㍓

## (4) 環境にやさしいエコ・ショップ

市内には8店舗のエコ・ショップがあり、簡易包装、ペットボトル・ビン・缶・トレー等の分別回収、再生品の販売等、ごみの減量やリサイクルに積極的に取り組まれています。

万代郡津店、スーパーラッキー交野店、万代倉治店、エーコープ近畿星田店、関西スーパー河内磐船店、イズミヤ交野店、ビッグサン、関西スーパー倉治店

## 2. し尿の状況

し尿収集運搬委託業務は、4業者による計画的な収集日程に基づき2ヶ月に3回の収集をしています。

規制緩和による下水道指定業者の増加、公共下水の推進により水洗切り替えを進めています。

平成28年3月末現在、し尿汲み取り人口は955人(509世帯)で総人口に占める割合は1.2%、浄化槽人口は4,284人(1,668世帯)で5.3%となっています。

### ○し尿処理量の推移

年度	25年度	26年度	27年度
生し尿	3,747.7 kL	3,204.1kL	3,224.9kL
浄化槽汚泥	3,204.4kL	2,898.9kL	2,651.0kL

